

日本対がん協会とは

公益財団法人日本対がん協会は1958年、がんの早期発見や早期治療、生活習慣の改善によって「がん撲滅」を目指そうという趣旨で設立されました。

活動は、がんに対する正しい知識の普及やがんの無料相談(面接、電話)、がん検診の推進、医師や放射線技師・保健師・看護師らの研修・育成、がん患者支援の24時間イベント「リレー・フォー・ライフ」の全国各地での開催、乳がん検診啓発運動の「ピンクリボンフェスティバル」など多岐にわたっています。

また46道府県に支部があり、がん征圧運動を展開しています。こうした幅広い活動は、様々な団体や企業、個人からの支援によって支えられています。

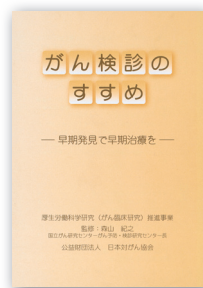
厚生労働省のがん臨床研究推進事業では、がん臨床研究成果発表会や全国の研究者の研修会・発表会を開催するほか、がんに関する啓発冊子を発行して、全国のがん診療連携拠点病院などに配布しています。冊子の申し込み・問い合わせは協会へ。



がん相談のすすめ



もっと知りたい乳がん



がん検診のすすめ